



学校だより かけ橋

横須賀市立汐入小学校 校長室

2012. 1. 20
No. 23

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

育成会について

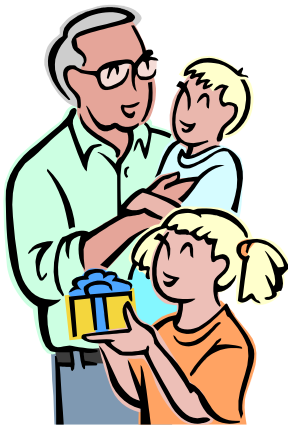
汐入小学校には、「汐入小学校教育となり組育成会」という組織があります。PTA という組織は、どこの学校にもあるのですが、本校のように「育成会」という組織は、市内の学校ではあまり聞いたことはありません。

戦後の混乱期、汐入地区の子どもたちの健全育成を目指して、地域の方々が立ち上げた組織だということです。当時は、先進的な取り組みだということで、全国各地から視察にきたという話も聞いたことがあります。

それから60年以上たった今でも現在の保護者の会であるPTAと連携しながら、育成会のみなさんと学校や保護者との心のふれ合いを多くしたり、生活指導の協力をしたりしています。

年に1回会費をいただいて、会員の方に広報「しおいり」をお届けしたり、PTA行事にお誘いしたり、2年に1回の観劇にご招待したりしています。また、PTA行事の予算の一部にあてさせていただいています。

学校としては、とてもありがたいことだと思います。PTAの保護者の方が現在汐入小学校に子どもが通っている大人の応援団とすると、育成会のみなさんは地域の大人の応援団だと思います。地域・保護者・学校の3者が連携して、子どもを育てて行くというのは、正に今の時代に求められていることです。何十年も前に、このような組織を作った先達に敬意を表するとともに、このような組織が存続しているのは、学校としての誇りでもあります。



そうは言っても、育成会の皆さんに、会費の分だけお返しできているか、無理やり集金しているのではないかと悩む人もいます。また、集金活動については、現在のPTA校外委員の方々に負担をかけているのではないかと心配にもなります。

PTAの運営委員会で相談した結果、「育成会は、地域の絆の大切さが叫ばれる中、重要性が再認識されている。ただし、会費については、集金活動の際の手間を少しでも軽減するため、360円という半端を無くして、300円にしてはどうか。」という意見が出ました。

育成会について、学校長が口を出す立場にありませんが、このたよりに使って、状況をお知らせして、地域の皆様のご意見を伺えればと思います。

育成会の成り立ち、目的、学校との関わり、会費など、ご意見やお考えをお寄せいただけたら幸いです。お電話又はメールでお願いします。

汐入小学校 校長 本間 822-0166

メール

admini@shioiri-e.yknet.ed.jp

自校献立

学校給食の献立は、市内の栄養士さんが話し合っ、横須賀市の給食の献立を作っています。その中で、年間4回だけ、「自校献立」というものがあります。それぞれの学校の栄養士さんが、その学校にあったメニューを考えてくれます。

1月17日（火）に、今年度3回目の自校献立がありました。メニューは、

ごはん・飲むヨーグルト

- ・三浦の大ちゃんスープ
- ・サンマのかば焼き・ふりかけ
- ・セレクトアイス

スープは、三浦半島産の三浦大根を使ったスープです。最近では、青首大根が多く作られ、三浦大根は少ししか生産されていないそうです。

ふりかけにも、こだわりがあります。大根の葉っぱを細かく切って、かつおぶしなどと一緒に炒めてふりかけを作っています。

セレクトアイスは、雪見だいふくとイチゴアイスのどちらかを事前に選んでおいて、それを食べました。かなり前に希望を聞いたので、いざ配るときに混乱しないように、担任は、希望表を持って配膳に向かいました。

給食の時間に、栄養士の大野先生が、全クラスをまわって、三浦大根と青首大根の違いについて、実物を見せながら話してくれました。葉っぱのついたニンジンも一緒に持って行き、地産地消のお話もしていました。

葉っぱがついたニンジンを初めて見たと言っている子もいました。お家でも、三浦大根を青首大根の違いを話題にさせていただくと子どもたちの興味関心がさらに深まるのではないのでしょうか？



児童生徒書写作品展

毎年、横須賀市文化会館で開催されています。今年も、1月20日（金）～1月24日（火）まで展示されています。

汐入小学校の子どもたちの作品はもちろんですが、それ以外の作品も力作ぞろいです。この作品展は、小・中学校、ろう学校、養護学校、横須賀市総合高校の児童生徒の作品が一堂に展示されているので、書写から芸術科書道へのつながりを知ることができます。

観覧は、無料です。駐車場も1時間まで無料です。ぜひご家族でお出かけください。



体育館や教室で行った書き初めの代表作品が展示されています。